

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【公表番号】特表2011-512880(P2011-512880A)

【公表日】平成23年4月28日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-542289(P2010-542289)

【国際特許分類】

A 4 7 C 27/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 27/00 D

A 4 7 C 27/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の主面であって第 2 の主面にほぼ反対の関係にあり、共通の周面が前記第 1 及び第 2 の主面を結合する状態にある第 1 の主面を有する機械的に単一のスラブと、

該スラブに形成された複数の穴又は内腔であってそれぞれが少なくとも一方の前記主面に関して、軸線及び幾何断面によって方向付けられ、配置が決められまた密度を有する複数の穴又は内腔と、

前記コアの固有の断熱特性に関する伝熱抵抗を向上するための熱貫流緩和手段とを含む、弾性材料のコア。

【請求項 2】

前記熱貫流緩和手段は前記スラブの処理を含む、請求項 1 に記載の弾性コア。

【請求項 3】

前記熱貫流緩和手段は、傾斜開放又は傾斜閉塞の穴又は内腔を形成すべく少なくともいくつかの前記穴又は内腔の軸線を方向付けることを含む、請求項 1 又は 2 に記載の弾性コア。

【請求項 4】

前記熱貫流緩和手段は前記スラブへ付加される固有の材料を含む、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の弾性コア。

【請求項 5】

前記材料は、前記第 1 及び / 又は第 2 の主面の障壁を含む、請求項 4 に記載の弾性コア。

【請求項 6】

前記材料は、少なくともいくつかの穴又は内腔を塞ぐ栓要素を含む、請求項 4 に記載の弾性コア。

【請求項 7】

前記熱貫流緩和手段は、前記コアの主面にほぼ直角な軸線を有する少なくともいくつかの穴又は内腔のための幾何学的な穴又は内腔を選択することを含み、前記少なくともいくつかの穴又は内腔は、それらの穴又は内腔の前記軸線にほぼ平行な方向への前記弾性コアの圧縮時に閉塞の穴又は内腔に変形するように考慮されている、請求項 1 ないし 6 のいずれ

れか一項に記載の弾性コア。

【請求項 8】

前記熱貫流緩和手段は、さらに、傾斜開放の穴又は内腔を形成するように少なくともいくつかの穴又は内腔の軸線を方向付けることを含む、請求項 7 に記載の弾性コア。

【請求項 9】

ほぼ全ての穴又は内腔が傾斜開放の穴又は内腔として特徴づけられ、前記幾何学的な穴又は内腔の横断面及び/又は前記穴又は内腔のための前記軸線の方向付けは、前記スラブの少なくとも 1 つの主面によって設定された平面にほぼ直角な方向への前記弾性コアの圧縮時に、前記穴または内腔が閉塞の穴又は内腔に変形するように選択される、請求項 3 に記載の弾性コア。

【請求項 10】

ほぼ全ての穴又は内腔が傾斜閉塞の穴又は内腔として特徴づけられる、請求項 3 に記載の弾性コア。

【請求項 11】

前記機械的に単一のスラブは、第 2 のサブスラブと固定的に結合された少なくとも第 1 のサブスラブを含み、各サブスラブは複数の穴又は内腔を形成し、各穴又は内腔は、少なくとも 1 つの主面に関して軸線及び幾何学的な横断面により規定された 1 つの方向性を有し、前記複数の穴又は内腔はそれらの配置を規定しまたある密度を有し、前記第 1 のサブスラブの少なくともいくつかの穴又は内腔の軸線が前記第 2 のサブスラブの少なくともいくつかの穴又は内腔と同軸にならないように、前記 2 つのサブスラブが固定的に結合される少なくともそのときには、前記第 1 のサブスラブの前記穴又は内腔の配置は、前記第 2 のサブスラブの穴又は内腔とは異なる、請求項 1 ないし 10 のいずれか一項に記載の弾性コア。

【請求項 12】

前記機械的に単一のスラブは、第 2 のサブスラブと固定的に結合された少なくとも第 1 のサブスラブを含み、各サブスラブは複数の穴又は内腔を形成し、各穴又は内腔は、少なくとも 1 つの主面に関して軸線及び幾何学的な横断面により規定された 1 つの方向性を有し、前記複数の穴又は内腔はそれらの配置を規定してある密度を有し、前記第 1 のサブスラブの穴又は内腔の配置は前記第 2 のサブスラブの穴又は内腔の配置から熱貫流緩和手段の材料によって実質的に分離されている、請求項 1 ないし 11 のいずれか一項に記載の弾性コア。

【請求項 13】

前記熱貫流緩和手段の材料は熱障壁を含む、請求項 12 に記載の弾性コア。

【請求項 14】

さらに、前記弾性コアを実質的に覆うように取り囲む不浸透性シート材料を含み、それによって不浸透性の覆いを形成する、前記請求項 1 ないし 13 のいずれか一項に記載の弾性コア。

【請求項 15】

さらに、前記弾性コアと環境との間に選択的に流路を形成する弁を含む、請求項 14 に記載の弾性コア。